

令和3年度 第1回日の出中学校浦安型コミュニティ・スクール設置準備委員会 議事要旨

- 1 開催日時 令和3年12月8日(水) 10:00~11:00
- 2 場 所 日の出中学校第2会議室
- 3 出席者 (委員) 高柳委員長(教育総務部次長)
鳩岡委員(日の出中学校長)、米倉委員(日の出中学校教頭)、板倉委員(日の出中学校PTA会長)、大塚委員(日の出中学校学校評議員)、室井委員(日の出中学校学校支援コーディネーター)
(事務局) 教育政策課長、教育政策課係長、教育政策課係員
- 4 議 題 ① 浦安型コミュニティ・スクールと今後の目指す姿について
② 浦安型コミュニティ・スクール設置要項について
③ 学校評議員会との関係について
④ 日の出中学校合同会議に参加する会議体について

5 議事の概要

① 浦安型コミュニティ・スクールと今後の目指す姿について

- ・学校と地域が一体となって、教育環境を整えたり課題解決を図ったりすることが重要視されていることや、法に基づくコミュニティ・スクールと浦安型コミュニティ・スクールの概要、今後の目指す姿についてなどの説明を行った。
- ・特に、法に基づくコミュニティ・スクールと浦安型コミュニティ・スクールの違いについて、合同会議内で協議される3つの内容について確認した。

<委員の意見>

- ・地域の方々がそれぞれの団体で活動している。それは、それぞれの団体が分科会のようなもの。役割をもって活動している。ただ同じような役割を果たしている団体もある。このCSでも同じようにやっていくのか。また最終的にはどのような形を考えているのか。

② 浦安型コミュニティ・スクール設置要項について

- ・浦安型コミュニティ・スクール設置要項の概要について説明した。

③ 学校評議員会との関係について

- ・学校評議員制度と学校運営協議会、浦安型コミュニティ・スクールの概要を説明し、将来的には合同会議を設置した場合は、学校評議員を置かなくてもよいような形にしていく想定であることを説明した。

<委員の意見>

- ・この場でどの方法を取るのかを決めるのか。
- ・来年度は学校評議員という制度を残しつつ、合同会議を行っていきながら形を考えていくということか。

④ 日の出中学校合同会議に参加する会議体について

- ・事務局が想定した会議体について説明。特に自治会の扱いについてはどうすればよいか検討をお願いした。

<委員の意見>

- ・この趣旨からすると、自治会については参加してほしいものの、自治会を総括して依頼する先がないのが現状。また、自治会としては、人を出さなければならないという負担感をもつと思われる。だからといって連携が必要ないというわけではないので、とても苦しいところだと思う。
- ・日の出中学校は日の出小学校、日の出南小学校の2校から上がってくる。その点から考えると小・中学校の連携についてはどう考えているのか。
- ・PTAのつながりで考えると、それぞれの小学校のPTAの様子を知っておきたい。中学校のPTAにつながられるようにしたいと思う。やる気をもって取り組んでくれる人材が必要なので、このような会議の場で情報収集できればよいと考えている。
- ・地域の方の意見を聞くということはとても必要なことだと思う。だから、合同会議に参加してもらうことが必要だと思っている。輪番制にするとかして自治会が参加できる仕組み作りをしていくべきだと思う。
- ・昨今の学校事情は課題がとても複雑化している。特に今の学校は価値観が「多様化」している。保護者や地域が学校に求めていることも様々だし、子どもたちの様子も一様ではない。このような中だと、正解を探し出すことは簡単ではないので、学校としては地域や保護者の方々と合意形成を図りたいと考えている。日の出中学校の開校当初は、周りにそこまでコミュニティがたくさんあったわけではないから、学校がその中心になっていたはず。これからの学校を考えると、地域に理解を求めながら学校経営をしていき、コミュニティの中心になればいいと思っている。